

平成 23 年度 滋賀県がん診療連携協議会・第 2 回企画運営委員会 議事概要

日 時：平成 23 年 10 月 12 日（水）午後 4 時～午後 5 時 30 分

場 所：滋賀県立成人病センター東館講堂

出席者：成人病センター（鈴木副院長、那須事務局長）、
滋賀医科大学医学部附属病院（醍醐腫瘍センター長、奥村課長補佐）、
大津赤十字病院（大野部長、水野課長）、公立甲賀病院（沖野副院長、小嶋課長）、
彦根市立病院（寺村副院長、和気課長）、市立長浜病院（伏木部長、入江がん相談支援セ
ンター副センター長）、滋賀県健康推進課（角野技監）
緩和ケア推進部会長（成人病センター堀科長）、がん登録推進部会長（成人病センター
川上副院長）

事務局：成人病センター（地域医療サービス室田中参事、医療情報室田中参事、経営企画室
谷本主任主事）

欠席者：研修調整部会長（滋賀医大 谷教授）、診療支援部会長（滋賀医大 藤山教授）

1 各部会の取組状況および今後の予定について

- ・各部会事務局から以下のとおり取組状況および今後の予定の報告がなされ、その後質疑応答があつた。

○報告事項

【相談支援部会】

- ・相談事例検討会は、今年度も引き続き実施する。
- ・若年性乳がんの方の相談支援の勉強会を 11 月 20 日（日）、兵庫医科大学社会福祉学の大松重宏先生を講師に迎え開催する。
- ・がん患者サロンについては、6 月 1 日から公立甲賀病院において、「ゆかい(癒会)こうが」が開設され、高島地域において「ほっと湖西」が高島保健所、高島市の共催のもとに開催されることになった。
- ・地域の療養情報について、滋賀県版の地域療養情報を部会において作成していく。
- ・県が行うインフォームドコンセントの実態調査については、23 年 10 月 17 日から 28 日にかけて調査が行われる。

【緩和ケア推進部会】

- ・緩和ケア研修については、来年度にむけて検討会を設け、プログラムの見直しを検討する。
- ・看護師対象緩和ケア研修を 9 月 5 日から 8 日の 4 日間にかけて実施した。参加状況は 5 名で、彦根市立病院と成人病センターに分かれて実習を行った。
- ・例年開催していた「世界ホスピスデー記念県民公開講座」は実施せず、10 月 3 日から 7 日にかけて、緩和ケア週間パネル展示を行った。

【地域連携部会】

- ・5 大がん地域連携パスの運用状況は、平成 23 年 9 月末現在、胃がんパス 57 件、大腸がんパス 53 件、肺がんパス 1 件、肝がんパス 4 件、乳がんパス 2 件の合計 117 件である。
- ・作業部会での取組状況は、肺がんパスの修正を行い、肝がん内科的治療内容のパス、進行期胃がん・大腸がんパスを作成している。

- ・「私のカルテ」のパンフレット・ポスターを作成中である。
- ・課題は、「5大がん地域連携パス」の県内への周知・広報・啓発、パスの運用において診療報酬が取れるようにすることや支援病院との連携を図ることである。
- ・11月に第5回滋賀県5大がん地域連携パスの研修会を開催する。

【がん登録推進部会】

- ・がん登録に関する院内の体制やがん登録実務にあたっている人が実際増えているか現状調査を行っている。
- ・意見交換・実務相談支援、実務研修を年間3回行う。
- ・データ分析・評価については、5大がん+αについて、分析するところまで部会で取り組んでいく。
- ・精度管理に関しては、引き続き行う。
- ・予後調査については、法制化を目指す全国の動きも見ながら地域がん登録の情報を還元していく。
- ・データ公開にむけても取り組む。

【診療支援部会】

- ・県内のがん診療に携わる看護師からの相談窓口を作ることを検討していると報告があり、ぜひ進めていきたいということとなった。
- ・医師派遣の実態調査について、次回の部会で集約する。
- ・がん医療に関わる先進的な医療についても、ホームページ公開に向け資料収集をしている。

【研修調整部会】

- ・研修会の受講の評価システムについては、修了書を出すか等について検討中である。
- ・各拠点病院を対象に国立がん研究センター研修の受講調査を行っている。
- ・講演会等の開催予定情報は検索もできるようにして、できるだけ見やすい情報を提供している。

○質疑事項

【相談支援部会】

- ・インフォームドコンセント実態調査について議論があった。

【緩和ケア推進部会】

- ・緩和ケア地域連携パスの運用について、地域連携部会と連携して検討していくこととされた。
- ・緩和ケア研修会について、4単位制にしてはどうかという意見があった。

【地域連携部会】

- ・地域連携パスの集計について、実績のない支援病院も表に載せることとされた。
- ・特に乳がんについて、退院時までには病理が出ないことで地域連携パスに係る診療報酬が算定されないことが問題とされた。
- ・各圏域の協議会において行政に積極的に関わって欲しいという意見が出された。

【診療支援部会】

- ・放射線治療に係る診療支援等のため、部会に放射線治療連絡協議会を参画させてほしい旨の意見があった。

【研修調整部会】

- ・講演等開催情報について、部会事務局から、リアルタイムに反映するには、関係者全員がログインして入力できるシステムがあればよいという意見がだされた。

- ・講演等のうち、掲載時に終了しているものがあるので、掲載に当たり一定の基準を設けてはどうかという意見が出された。

2 滋賀県がん医療フォーラムについて

- ・鈴木委員長から、滋賀県がん医療フォーラムについて、「治療が難しいがん・再発したがんをとたたかう」をメインテーマに、基調講演を名古屋医療センターの堀田知光先生にお願いして、さらに相談支援について国立がん研究センターから講演いただき、1月29日にピアザ淡海で行う旨が報告された。
- ・拠点病院からは滋賀医科大学医学部附属病院の醍醐先生をパネルディスカッションのコーディネーターにお願いし、その他の講師はおって決めることとされた。

3 県からの報告事項等

- ・健康推進課から、滋賀県がん対策推進協議会の開催結果について報告がなされた。
- ・福井県立病院陽子線がん治療センターの紹介があった。

4 その他

- ・事務局から国立がん研究センターから相談支援センターについての調査について協力依頼があったこと、11月の協議会において国立がん研究センターがん対策室副センター長の若尾先生がオブザーバー参加されることが報告された。